



わたしたちの治療やケアが、  
いつもの暮らしに繋がるように。

特集  
リハビリテーション

いつもの暮らしへ復帰する  
実績と難易度の高い資格  
質の高いリハビリテーション

Photograph / Akira Kimura

撮影 / 木村 明 医師  
医療法人寿人会 木村病院にて  
外科診療や健診事業部での診療に従事

木村病院 リハビリテーション部 ご挨拶

リハビリテーション部門では、リハビリの国家資格だけでなく、更なる専門知識を必要とする様々な資格をもったスタッフが、集中的なリハビリテーションを実施し、患者さまが生活の場に帰れるようご支援しています。

私たちは、「住み慣れた地域で自分らしい暮らし」を続けていただくために、しっかりと根拠のあるトレーニングと、環境調整の両輪が必要と考えています。リハ医を中心とした専門スタッフチームで、患者さまお一人おひとりの課題解決に努めています。

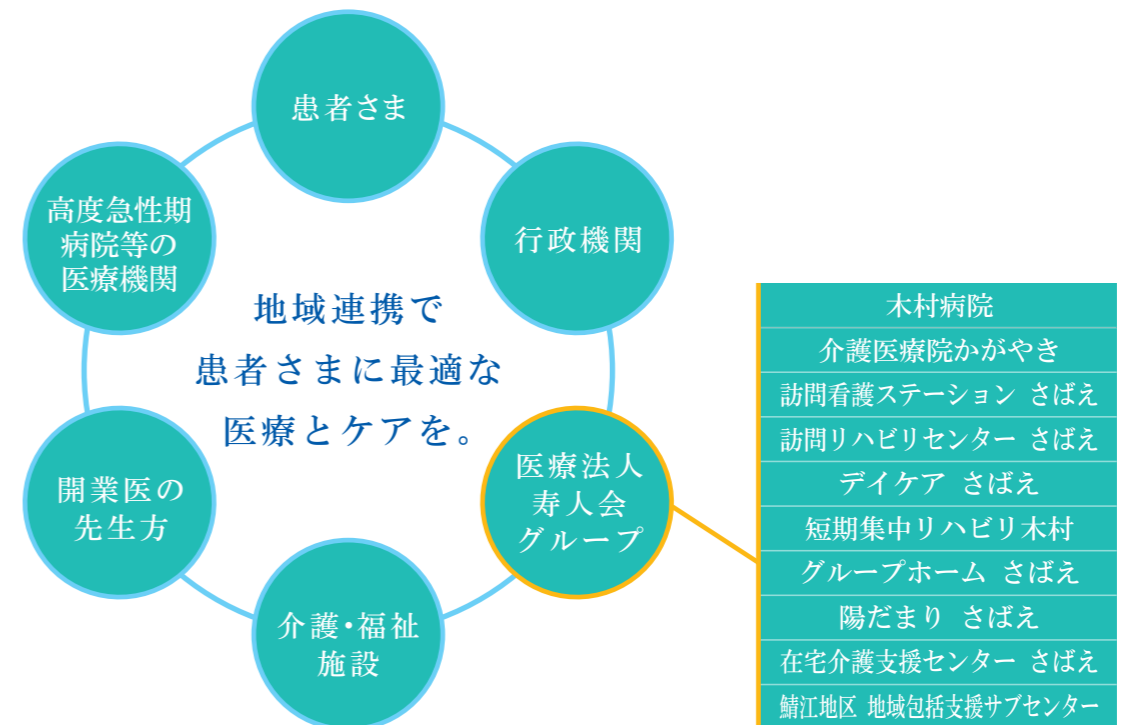
木村 知行

医療法人寿人会グループ 理事長

幅広いリハビリテーションで、  
生活の場に帰る力を。

理念

病気を診ずして病人を診よ



医療法人  
寿人会グループ

医療法人寿人会 グループ本部  
〒916-0025 福井県鯖江市旭町4-4-9  
TEL:0778-51-0478 / FAX:0778-52-4817

木村病院 介護医療院かがやき 訪問看護ステーションさばえ 訪問リハビリセンターさばえ デイケアさばえ 陽だまりさばえ  
短期集中リハビリ木村 グループホームさばえ 在宅介護支援センターさばえ 鯖江地区地域包括支援サブセンター

幅広いリハビリテーションで、  
生活の場に帰れる力を。

医療法人寿人会  
木村病院  
リハビリテーション部

いつもの暮らしへ



日本リハビリテーション  
医学会  
指導医 在籍

日本リハビリテーション  
医学会  
認定研修施設



患者さまがリハビリに真剣に取り組み、頑張ってくださいすることで、車の乗り降りや歩行、料理などいち早い生活への復帰の実現に繋がっていきます！

日々の暮らしの中で、病院のお世話になることもありますが、時には、入院や手術が必要なこともあるかもしれません。もしそうなるにしまいに、たとえ命の危機が去ったとしても、日常生活に帰って普段の暮らしをスムーズに過ごしていきけることがとても大切です。退院後も、生活はずっと続いていきます。そのため、私たちは「患者さまの退院後の暮らし」も見据えた上で、治療やケア、リハビリテーションなどを行っています。

その中でも重要なカギを握るのがリハビリテーションです。病気にかかった後の皆様の暮らしを左右すると言っても過言ではないほど、その取り組み方は大切です。私たちは、患者さまに質の高いリハビリテーションを受けていただけるよう、設備も含めて体制を整え、国の認定である「施設基準」を取得しています。

また、リハビリテーションの実績を数値化し、きちんと記録・振り返りを行うことで、年々より質の高いリハビリテーションが提供できるよう努力しております。

質の高いリハビリテーションの提供

リハビリテーションは、診療やリハビリテーションを行う職員の質の高さも大切です。当院では、リハビリテーション科医師4名の内、日本リハビリテーション医学会指導医が2名、専門医は3名が取得をしております。リハビリテーションスタッフも福井県内でまだ数名しかいない「専門理学療法士（神経理学療法／生活環境支援理学療法）」や「認定言語聴覚士」をはじめとして、各種上位の資格を取得しながら、日々技術と知識の研鑽に励んでいます。技能を高めることで、排尿自立や調理、自動車運転などの生活に必要な能力を身に付けたいという、患者さまのニーズに対応できるよう努めています。

**施設基準**

- ・脳血管疾患等リハビリテーション（1）
- ・運動器リハビリテーション（1）
- ・呼吸器リハビリテーション（1）
- ・廃用症候群リハビリテーション（1）
- ・がんリハビリテーション

**スタッフ保有資格・認定**

- 専門理学療法士（神経理学療法）
- 専門理学療法士（生活環境支援理学療法）
- 認定理学療法士（脳卒中）
- 認定理学療法士（呼吸）
- 認定言語聴覚士（失語高次脳障害領域）
- 認定言語聴覚士（摂食嚥下障害領域）
- 3学会合同呼吸療法認定士
- 心臓リハビリテーション指導士
- 日本糖尿病療養指導士、介護支援専門員
- 転倒予防指導士、認知症ケア専門士
- ノルディック・ウォーク公認指導員、AMAT など

**スタッフ構成**

- ・リハビリテーション科 医師 4名
- 日本リハビリテーション医学会 指導医 2名
- 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医 3名
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士 約40名

目指すのは、できるかぎり  
いつもの暮らし・日常に帰れること。

復帰する。

